

【関東ブロック】

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ ご記入に当たり

- ・例示を削除した上で、ご記入ください。
- ・該当しない項目については、空欄で結構です。また、記入票に記載のない項目についても、必要に応じ適宜項目を追加して記入いただいても構いません。
- ・記入票は、サウンディング開催案内の際に、民間事業者の参加希望者募集のため、ホームページで公表します。

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
① 団体名	桶川市
② 事業名	南小跡地活用事業
③ 本事業の現在の検討ステージ	以下の中から本案件の検討ステージを選択してください。 ①.事業発案
④ サウンディングの目的	<p>本市の第五次総合振興計画における土地利用の基本的な考え方では、桶川駅周辺の中心市街地を本市の都市拠点と位置づけ、駅東口、西口を一体として中心市街地の形成を図り、拠点性を確保していくこととしている。</p> <p>平成24年度に実施した市民アンケートでは、対象地の活用について、公園・広場、行政サービス施設、子育て支援施設、スーパーマーケット、医療関係といった意見が多かった。</p> <p>整備する施設の客層は、恒常的な利用が考えられる市民を想定すると共に、隣接する桶川駅の利用者等についても取り込むことを視野に入れている。これらの利用者に対して優れたサービスを提供することが目的である。</p> <p>上記の観点から、民間事業者が有する柔軟なアイデアを取り入れたいと考え、サウンディングを実施するものである。</p>
⑤ 民間事業者に対する質問事項	<p>① 対象地に民間施設を配置する場合、どのような業態が長期間継続して集客し利益を出すことができるのか。</p> <p>② 事業に関連する市の財政負担を少しでも軽減するため、事業全体のイニシャルコスト及びランニングコストを抑制するためには、どのような整備手法が想定されるか。</p> <p>③ 官民連携の手法を用いた場合、市有地を定期借地として民間</p>

③ 土地利用上の制約	現状は、第一種住居地域（建蔽率 60%、容積率 200%）
④ 所有者	桶川市
⑤ 周辺施設等	<p>対象地東側に近接する県道仲仙道線には、旧中山道の宿場町として栄えた趣ある商家などの建造物が現存している。</p> <p>【桶川駅から 1 k m 圏内にある施設等】</p> <p>東口：小学校、公民館、図書館、子育て支援センター、郵便局 診療所が立地</p> <p>西口：中学校、市役所、図書館、複合商業施設、市民ホール、都市公園、保健センター、郵便局、診療所が立地</p>
⑥ 対象地周辺の一般的なイメージ	<p>駅東口周辺の整備については、昭和 40 年代から再開発等による事業の展開を目指したが、事業が具体化せず、長年の間、開発の手が入っていない状況である。</p> <p>対象地周辺は、古くから商店等が連なる街並みであるが、時代の変遷と共に業種転換（主に駐輪場）をしている。</p> <p>駅東口周辺には、人が立ち寄れる、人が留まる場が少ない状況である。</p>
⑦ その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	<p>対象地を含む駅東口周辺地区のまちづくりについて、平成 27 年 3 月に策定した「まちづくり基本計画案」の中でイメージを示し、平成 29 年度には、対象地周辺の地権者に対し、対象地の用途、周辺道路の整備について意向調査を実施した。</p> <p>今後は、対象地の具体的な活用を意識して、道路の配置や幅員、用途地域等を検討する。</p> <p>平成 30 年度から駅東口エレベーター設置及び桶川駅舎・自由通路の耐火化改修を順次、施工する。</p>

(3) 対象施設

4-1. 建物	既存	整備後(予定)
① 設名称		
② 設の延床面積		
③ 建物の構成(構造、階数)		
④ 主な施設の内容、導入機能		
⑤ 運営状況 (運営主体、事業手法 等)		
⑥ その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
4-2. インフラ系	既存	整備後(予定)

(上下水道、道路等)		
① 施設名称		
② 規模、能力 等		
③ 運営状況 (運営主体、事業手法 等)		
④ その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		

■ 添付資料

資料 1 計画地の位置図

資料 2 敷地図

資料 3 現況写真

資料 4 人口、年齢別人口

資料 5 桶川市資料 リンク集

資料 6 平成 27 年 3 月策定「まちづくり基本計画案」抜粋

資料 7 桶川駅周辺地区の道路計画等に係る意向調査報告書